

真空採血管用開栓具の試作・ 自動機の開発と販売促進事業

【マイクロニクス株式会社】

1. 事業者の概要

社名：マイクロニクス株式会社

所在地：〒613-0036 京都府久世郡久御山町田井新荒見 24 番地 1

代表者：代表取締役 八木 良樹

設立：昭和 56 年 6 月 20 日

資本金：1,200 千円

従業員数：47 人

業種：医療用機械器具製造業

主要取扱商品：創薬関連機器、環境水質測定機器、品質管理室・検査室の自動化機器

電話・FAX：0774-46-8303・0774-41-2771

URL：http://www.micronix.co.jp

E-mail：tamami-miyaji@micronix.co.jp

2. 事業の概要

[事業区分]

試作開発

[事業類型]

医療・バイオ

[テーマ]

真空採血管用開栓具の試作・自動機の開発と販売促進事業

[目的]

採血用真空採血管は、近年フィルムシール式が主流になっているが開栓時の飛散で2次感染や汚染（コンタミ）がある。これを解決するため、安全で安価な開栓具を開発する。これを型化で量産し、自動機の開発を含めて普及を図る。

3. 事業の内容

[事業取組みの経緯]

現在使用されている真空採血管は「ゴム栓式」と「フィルムシール式」の2種類があり、コスト面でフィルム式が増加してきた。また、東日本大震災後に提案された「東北メディカル・メガバンク構想」の一環で大量の血液の分析・調査が行われており、今まで以上に大量・迅速に、更に安全に処理をする必要性が高まってきた。当社は今までに、ゴム栓式の小型開栓機や検査センターなどの大量処理の力が必要な自動開栓機を販売してき



事業所外観

たが、このような市場の動向・ニーズに対応するため、フィルム式真空採血管用開栓具及び自動開栓機の開発に取り組むことにした。

[実施内容]

まずは、大学の研究室をターゲットに設定し、既存の取引先から現状の問題点や課題、要望などを聞きだし、開栓具の具体的な仕様を決定していった。自動開栓機についても、実際のニーズや使い勝手などから具体的なサイズを決定し、設計を進めた。

4. 事業成果

[競争力強化の形態]

ニッチ分野特化

[基盤技術の活用等]

プラスチック成形加工

[事業取組み成果]

現在まで、展示会（バイオテック）への出展（3回）や学会での発表等、アピールに努めた結果、東北大学及び大手自動車メーカーの健康保険組合からの受注を獲得することができた。

[他社との差別化の実効度合]

現在のところ、同様の特徴を持った製品は市場には存在しない。また、特許出願済であるため、今後も競合製品が出現する可能性は低く、優位性のある製品であるといえることができる。

[今後の主な活動予定]

今後の課題はコストダウンと販路の拡大である。開栓具は1回使い切りの消耗品であり、ユーザーによっては現状の価格では手作業と比較した場合のメリットを感じてもらえず、受注に至らないこともある。販路に関しては、自社での営業強化に加え、代理店の販売網を活用して、拡大を目指す予定である。

販売（売上）計画

経過年数 3 年目（28 年度）： 25,000 千円

経過年数 4 年目（29 年度）： 50,000 千円

経過年数 5 年目（30 年度）： 125,000 千円



真空採血管用開栓具



真空採血管自動開栓機